

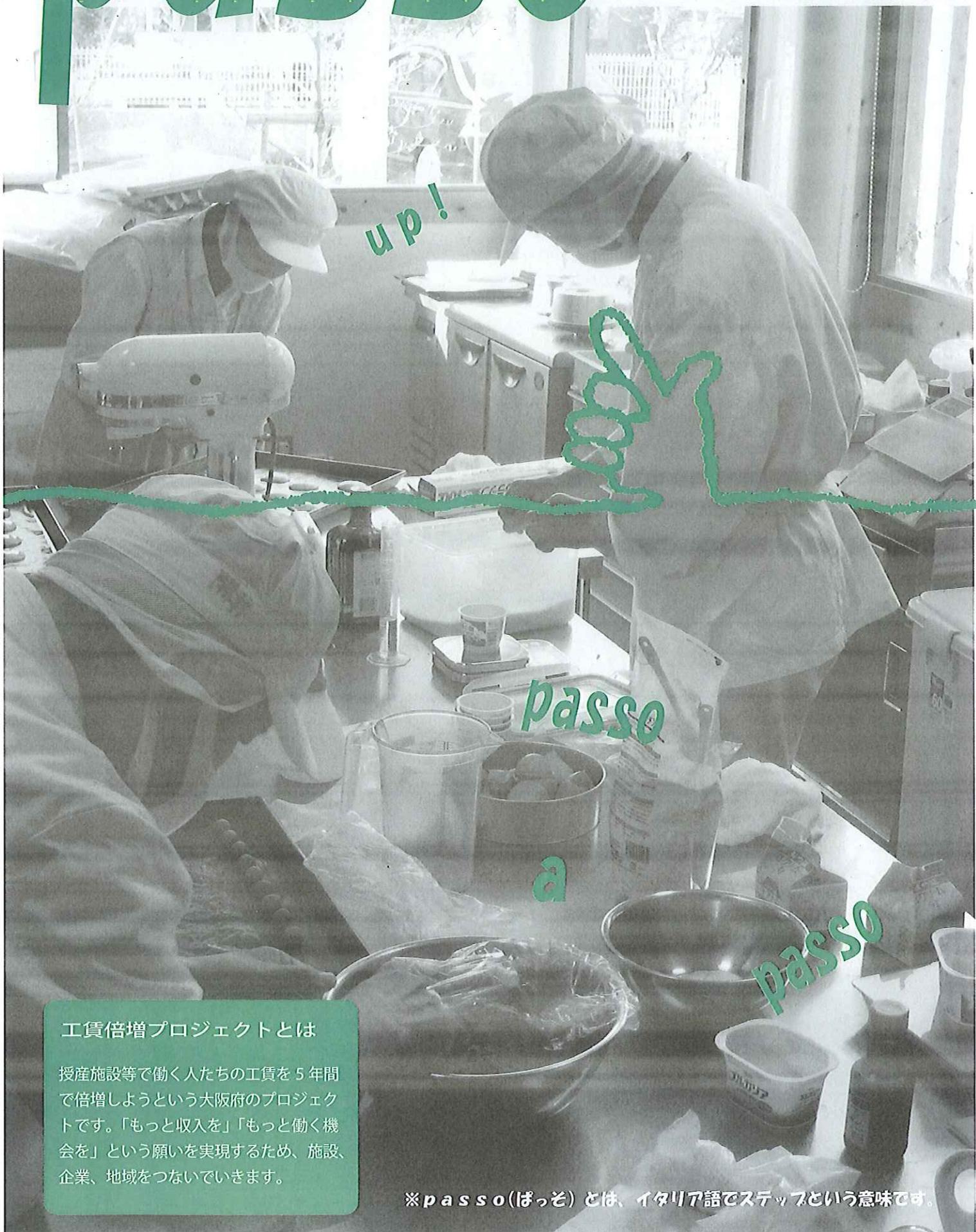
passo



019

工賃倍増プロジェクト

2009/12.1-12.31



工賃倍増プロジェクトとは

授産施設等で働く人たちの工賃を5年間で倍増しようという大阪府のプロジェクトです。「もっと収入を」「もっと働く機会を」という願いを実現するため、施設、企業、地域をつないでいきます。

※passo(ぱっそ)とは、イタリア語でステップという意味です。



こだわりのケーキ工房「ふらっと」



いつの間にか今年もあと少し。ジングルベルのメロディーが流れ、クリスマスツリーが街中に見られるようになりました。そんなこれからの時期に大忙しになりそうなのが今回訪問させていただいた社会福祉法人ポポロの会の“里の風”さんのケーキ工房「ふらっと」です。ケーキ工房は毎週火曜日から日曜日、午前11時から午後5時までオープンしています。施設は信貴山の麓にあり、ハイキングコースも近いことから休日の行楽客が来られたりするそうです。

前回、八尾市で開催したカフェでも施設長の樋渡さんにお伺いしましたが、この工房のこだわりはやはり“安全”ということがあります。害のない、身体にやさしいものを材料に使うため、仕入れも一苦労されるそうです。手軽に手に入るものではなく選んだものを使うということはそれを購入するお客様にもうれしいことです。そして自家製の食材も積極的に取り入れておられます。施設では農園作業も取り組まれていて、ジャガイモやサツマイモ、ほうれん草や冬瓜までいろんな収穫物がケーキやお菓子の材料になります。ちょっと他では見られない食材はとても興味がそそられます。

そんな商品はどうやって考えられるのですかとお尋ね

すると、まず利用者さんが「こんなもの作ってみたい」という声から商品化が始まるそうです。そして実際に作ってみてみんなで食べる。そして相談を繰り返して商品となるそうです。利用者さんの中には工房の創設時から関わっているメンバーも多く、およその行程を習得されている方も多いか。そんな熟練さんたちが多いからこそいろんなアイデアも出るのでしょうか。今後の目標についてお聞きすると、やはりもっと販売先を増やしていきたいということをお聞きしました。いいものをつくっているのもっといろんな人に食べてもらいたい。おしゃれなこだわりのケーキ工房の商品は、まだまだ拡がっていくでしょう。

社会福祉法人ポポロの会 里の風

〒581-0856 八尾市水越2-81

TEL 072-940-3321 FAX 072-940-3322

※表紙の写真は、ケーキ作りの作業風景です。

第18回 カフェ

今月のカフェは、京橋駅から歩いてすぐのところにある、授産施設きょうばし（喫茶まほろば）での開催。駅前の雑踏とうってかわって、ガラス張りの喫茶店はとても落ち着いた雰囲気です。今回は、カフェを開催してから最多の参加人数で、寒い外とは対照的に店内は熱気に溢れていました。



なぜ喫茶をはじめたの？

施設長の寺村肇さんにお話を伺いました。授産施設開設準備の段階で、事業種目は収益性、持続性のあるものというのが決まり、その次に“中身の見える”社会復帰施設という方針で、ガラス張りにするというのが決まったそうです。喫茶店をしようと決めたのはその後。ただ単に喫茶店をしようとしたのではなく、外からも何をしているかが見えて、地域との繋がりもできる。そんな点からはじめられたそうです。



試行錯誤の毎日・・・

最初はお客さんが少なく、悩んだこともあったそうですが、近所に住むお客さんからもらったアドバイスを



取り入れたりしている内に、女性層のお客さんが増えてきたそうです。

参加施設：18施設
参加人数：25名



ちょっとした工夫で大きく変わる！

接客や作業手順も利用者さんがわかりやすいように、様々な工夫をされています。言葉だけではなく、写真やイラストの入ったものを棚やカウンターの内側に貼っています。実際使っているキッチンを見せていただきましたが、棚を開けると次に何をすればいいのかメニューごとに書かれていますし、棚のどこに何を直せばいいかも書かれています。もちろんお客さん側からは見えない位置にどれも貼り付けてありました。

後半は、レストランをされている PicaPica 作業所（八尾市）の上原さん、喫茶店をされているブルーリボン（吹田市）の稲垣さんからも各施設の取り組みをお話いただきました。その後の質問タイムでは、具体的な質問が飛び交い外食事業への興味深さがうかがえました。

みなさん、静かで落ち着いた雰囲気の喫茶まほろばさんに行って、その心地よさを是非体感してみてください。

第19回カフェ

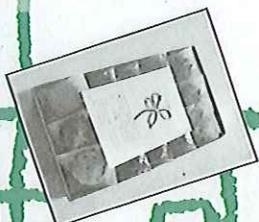
12月16日（水）※12月は水曜日開催

豊中市 おかまちコミュニティカフェ kitto（きっと）

病院から拡がる地域のふれあい！



バスの窓から見える看板にふと心ひかれ、受発注コーディネーターがとびこみ営業をしたのは数ヶ月前のこと。高槻市にある「新生病院」と「茨木医誠会病院」。いずれも地域との交流をテーマにさまざまなイベントを開催されていて、近隣の作業所さんの出店を快く歓迎していただきました。病院でイベントや出店ができるなんて想定外でしたが、7月、9月、10月のイベントは売上もよく、利用者さんに話しかけてくださる病院スタッフやお客様が多く、意欲の向上や接客マナーなど得るものがたくさんあるとのこと。入院患者さんも作業所さんも次回を心待ちにされています。



企業名入りクッキー、全国に発信！



指文字で「クボタ」と書かれた「企業名入りクッキー」。このクッキーは、クボタワークス(株)の営業担当者様が手土産としてお使いいただくために何度も改良し、今では3つの作業所が役割分担しながら共同受注しています。この10月、11月には全国から200箱以上のご注文をいただき、東は名古屋、東京、北は仙台、北海道、西は広島、南は九州まで大阪発のクッキーが届けられています。特に、茨城県の竜ヶ崎工場では、聴覚障がい者の見学のお土産としてとても喜ばれたそうです。これも企業の担当者様が全国の支店や工場にクッキーを紹介していただいたおかげです。

手づくりお手玉、海外へ渡る！



「社員研修にお手玉を使いたい」とご注文をいただいた企業様は富士ゼロックス大阪(株)。お手玉は、休憩タイムにからだを動かし、頭や緊張をほぐすのにちょうどいいとか。好き勝手に数名でジャグリングするとリラックスでき、次の研修に集中できるとのこと。お手玉は好評で、個人的な注文をいただくことも度々。さらに、海外へ出張する社員様が手土産にしたいとのうれしい注文をいただきました。作業所さんも張り切り、晴れ着の古布で色鮮やかなお手玉を作られました。海外での感想を楽しみにしています！

不景気も寒さも吹き飛ばせ！ 新授産研修会続々

「地域清掃」第1回研修会

清掃は収益性が高く、就労支援の面からも関心が高まっています。

10月29日、「地域清掃」第1回研修会を開催(会場：ヒューマインド)し、12施設が参加しました。これは大がかりな清掃ではなく、地域に根付き、地域と関わり、地域が必要とする、「まちの掃除屋さん」をめざすものです。昨年度実施した調査では、小規模マンションの共有部分や個人の住宅の清掃の受託に可能性を見出しました。そこで今回、すでに実践されているセルフわらしべの久保さん、釜ヶ崎ストロームの家のぞみ作業所の村松さんから事例を紹介していただきました。取り組みにあたっての重要なポイントがいくつも示され、参加者には事業の立ち上げを考える有意義な機会となりました。

今回は、報告をいただいた作業所の見学を予定しています。

「農業」第2回研修会

11月20日、枚方市のセルフわらしべさんを会場にお借りして「農業」第2回研修会を行い、8施設が参加しました。

今回のテーマは「花」。セルフわらしべでは、京都の桂高校と協力して平成15年からハウス栽培を始め、今では、授産事業の柱に成長しています。花卉(かき)市場での販売や企業の花壇管理、「体験農園」を主催するグループやホームレスを支援する花屋さんとの連携も進んでいます。研修では、①セルフわらしべの西川さんから活動経過の紹介、②技術担当の森口さんから「園芸事業の始め方・進め方」のレクチャーを受けました。

パンジー、ビオラ、プリムラが美しく咲き乱れるハウスの見学とともに、公園管理への参加よびかけもあり、参加された施設の熱心な質問で盛り上がりしました。



地域から情報提供です！

“も・り・も・り”の
ロゴマークを募集！

守口障連協の物品販売活動に参加している福祉施設・作業所が集まり、守口を元気もりもりにする「守口あったかプロジェクト」を立ち上げました。

障がい者の授産製品を通して、活動を知っていただく・興味を持っていただく・購入していただくために、みんなが協力し合い作り上げるブランド
“も・り・も・り”

そのロゴマークを募集しています！

■応募期間は、平成21年12月31日まで

詳しくは、ようき作業所 川口まで
TEL 06-6993-5343



みんなのレジスター
ありがとうございました！

先月号でみなさまにお願い致しました府庁のパンやさんで使うレジスター。「使っていないレジがあるから、どうぞ」と「(社福) さつき福祉会 就労支援センターみち」と「(社福) 治栄会 とどまつ園」の2箇所の作業所さんから声をかけていただき、無償で譲っていただきました。

早速、府庁に運びみんなで使っています。小さな電卓に比べずっと使いやすく、計算間違いも少なくなりました。

「ありがとうございました」



いらっしゃいませ～

橋下知事が府庁「まちのパンやさん」でお買物



前号でも紹介した大阪府庁「まちのパンやさん」が11月2日にオープン。サプライズは橋下大阪府知事のご来店。初日の12時過ぎに橋下知事が店を訪れ、「これから新幹線の中で食べるんだけど、おススメはありますか？」と、気軽にスタッフに話しかけられ、自らトングを持って棚に並んだパンを「おいしそう」と言いながら、お買い上げいただきました。「まちのパンやさん」は独立したお店として13の作業所が交代で運営。毎日おいしいパンをお届けしています。職員のみなさんの評判も上々。府庁に来たら、ぜひ一度お立ち寄りください。

こちら編集部

passo に関するご意見、ご感想をお待ちしています！

お問い合わせ先

大阪府工賃倍増計画推進事業運営主体：大阪知的障害者雇用促進建物サービス事業協同組合（愛称：エル・チャレンジ）
大阪市中央区北新町2-12 北新町センタービル3階 TEL: 06-6949-3551 FAX: 06-6920-3522

<http://www.l-challenge.com/>

<http://www.l-challenge.com/kouchin/index.html>

